

突然ですが、10年先もおぼつかないのに、50年先のことは

現在61歳、50年先は111歳、生存確率はゼロですが・・・

そんな話より、4月からの就労数減が大問題・という声も、ありかと

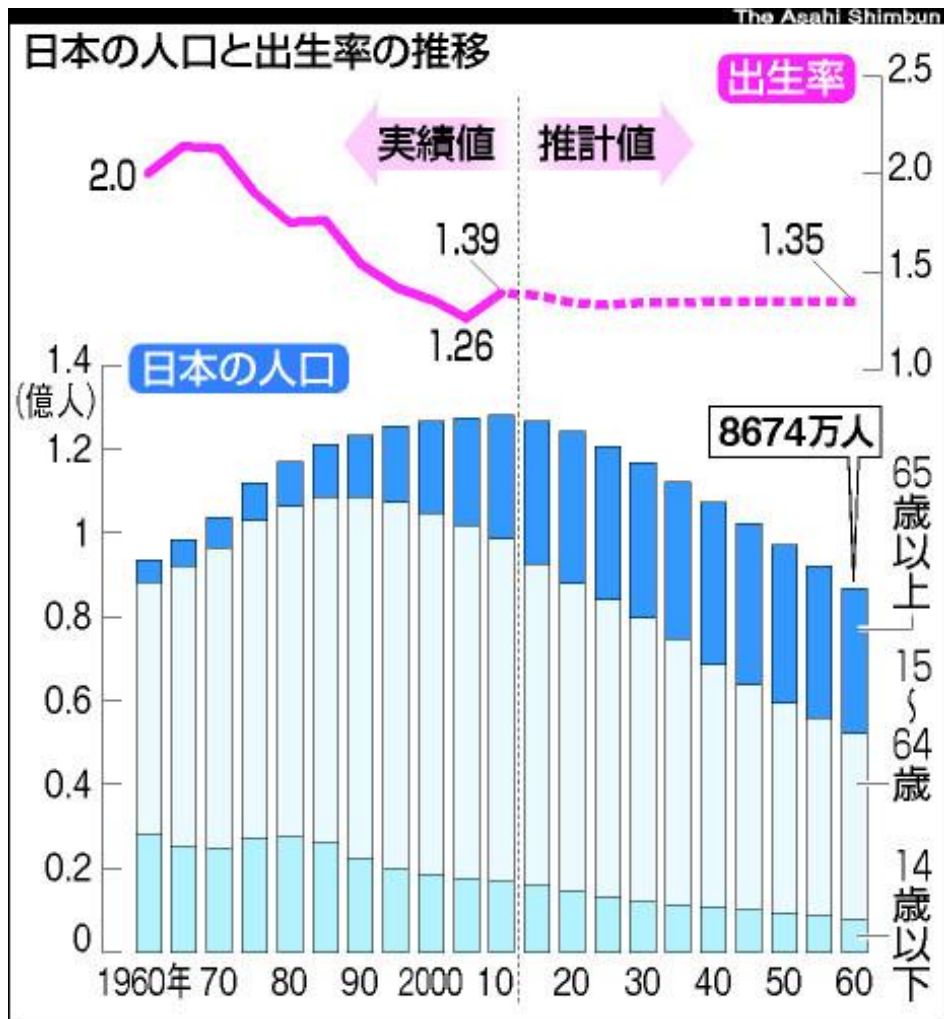
唯ひたすらに「生活保護制度を活用しようね」路線の夜間学校ニュースですが、「自分自身の年齢を考えると、まったく関係がないや」と思うにもかかわらず、思わず反応してしまうのが、人口問題です。

「国立社会保障・人口問題研究所」というのがあって、2010年国勢調査の結果を基に、日本の人口の将来予測をした結果が、新聞に載っていました。下のグラフは朝日新聞に掲載されていたもの(電子版からコピー)です。

日本の人口が、50年後には、一億人を大きく下回って、エライことになるかと大騒ぎです。私を含め、10年先、20年先の己の生存すら確実でないものほど、大騒ぎする傾向があるようです。

団塊の世代が縮小再生産して団塊ジュニアの世代、その世代が使い捨てにされて、次世代を生めない状態にしておいて、先行した世代が何の反省もなく少子化を騒ぎ廻るのは、おかしいモンです。

70歳超えの3人連合が、新党をこしらえて若い橋下さんに抱きつこうとするなんて、醜悪そのも



の。まあ、それなりに、今の日本と自分たちが死んだ後の世界を心配してのことなのでしようが・・・

そういう、お偉いさん達とは違う、カネも力も持たない私達は、死にいたるまでの過ごし方、自分が死んだ後の世界への貢献という「心配(心配り)」をすることとは無縁であるのでしようか。

「吾は孤なり、一人生まれ一人死ぬ、なんで世間に関わ

りがあるものか、ましてや、次の世のことなど」

ところで、夜間宿所や公園やセンター周辺での生活は、次世代に引き継がれるべき生活形態でしょうか？

「それは、俺個人の問題であり、次世代に何の関係があるのか。一つには社会の仕組みのせい、野宿を余儀なくされるものは常にいるのだ。だから、次世代にこの生活形態を受け継がれるとしたら、社会の仕組みのせいであり、俺には関わりがない」。誠に、ごもつとも。

「生活保護に行けば悩みそがユルンデしまう」という言葉も、今朝（1月31日）聞いたところでは、

「特掃の『月8』が無くなるということ、2〜3人が生活保護に行く相談をしている」という話も聞きました。

それぞれに、それぞれの考え、それぞれの選択、当然のことです。

しかしながら、それぞれの考えの中に、次世代のために、「人様の値打ち」を少しでも高めることに貢献するということ、入れていただければとても嬉しいです。「人の値打ちはゼニじゃない」ではありませんが、生活の最低限度は、同列であって成り立つ話。次世代に、野宿の生活を残さない決意を！そのために、まず、あなたから、行動を！生活保護は「人様の値打ち」を高めるために使う手段です。

## 市更相は釜ヶ崎（あいりん地域）の福祉相談窓口です。

夜間宿所利用・炊き出し利用、センター周辺や公園での野宿・仮小屋生活から、アパート生活へ！

市立更生相談所（市更相）は、釜ヶ崎（あいりん地域）内の簡宿利用者、夜間宿所利用者、そして、地区内で野宿する人を担当する福祉の相談窓口です。

役所は管轄（縄張り）にこだわりますから、市更相の窓口で「天王寺公園で寝ていた」というと、「天王寺区役所で相談して下さい」といわれます。「鶴見橋商店街で寝ていた」というと、「西成区役所へ行って下さい」といわれます。

この点、相談に行く前に、しっかり確認しておいて下さい。

最低でも、相談に行く前の晩は、夜間宿所かセンター周辺あるいは山王・太子など市更相周辺で寝泊まりしていたことが必要です。地区内の簡宿に止まっている人が、わざわざ野宿していく必要はありません。

### 1) 医療相談

体の調子の悪い人は、医者を紹介してもらえます。大概は医療センターです。

### 2) 施設相談

2〜3日、三食風呂付きで体の調子を整えたい人は、三徳寮の生活ケアセンターの利用を相談してみてください。

2〜3日でなく、長期に施設に入って、体力の回復や過度の飲酒やギャンブル依存などの悪い生活習慣を改善したい人は、長期の寮（生活保護施設）への入所を相談しましょう。生活保護の中の施設保護です。

### 3) 居宅確保相談

住居のない人が、アパートやマンションを借りて、生活保護の中の居宅保護を申請することができます。この場合は、医療相談でも施設の相談でもなく、居宅保護の相談であることをはっきり、職員に伝える必要があります。